

身障やまがた

令和8年 新春号
No. 350

発行所 社会福祉法人
山形県身体障害者福祉協会
発行者 会長 安部 眞

障がい者差別のない共生社会を目指して 吉村県知事と身体障がい者代表との懇談会を開催



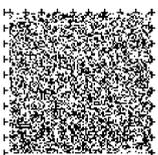
吉村知事は懇談会終了後、山形県リハビリセンターを視察されました。

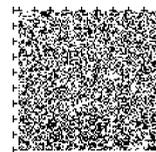
災害時避難行動要支援者の「個別避難計画」の策定推進や 市町村手話言語条例の制定推進等を要請 [3頁掲載]

No.350 Contents

- ◎新年のごあいさつ 社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会会長／
黒沼祐蔵 常務理事 藍綬褒章受章祝賀会開催 P 2
- ◎山形県知事と身体障がい者代表との懇談会 P 3
- ◎市町長との懇談を実施(酒田市・南陽市・庄内町) / 市町村等身障協会組織活性化懇談会 P 4
- ◎令和7年度 輝きの芸術・文化作品展開催／
第40回障害者による書道・写真全国コンテスト / おらが町の芸術家 P 5
- ◎東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会／
障害者週間記念事業・北村山地区身体障害者相談員連絡協議会研修会 / 女性のつどい /
J R ジパング倶楽部特別会員制度のご案内 P 6
- ◎全国障害者スポーツ大会 / 東京2025デフリンピック /
パソコンボランティア (ICTサポート) 事業のご紹介 P 7
- ◎身障旅行のご案内 / 事業所だより (リハビリセンター、視覚障がい者情報センター、
ふれあいの家、東紅苑) / 文芸ひびき P 8

目の不自由な
方のための
音声コード





新年のごあいさつ

社会福祉法人 山形県身体障害者福祉協会
会長 安部 眞



新年あけましておめでとうございます。

日頃より山形県身体障害者福祉協会の活動に温かいご支援とご理解を賜り、心より御礼申し上げます。令和八年の年頭にあたり、皆さまと共に新たな歩みを始められることを大変嬉しく思います。

昨年を振り返りますと、7月には、私の地元川西町において、「第57回山形県身体障がい者福祉大会」を開催いたしました。多くの御来賓をはじめ約700名の方々の参加をいただき、共生社会の実現に向けて取り組む姿を示すことができました。また、10月には、吉村県知事に当協会へお越しいたごき、障がい者からの要望などについて、意見交換を行う懇談会を開催させていただきました。

一方で、市町村等協会の会員数の減少や役員の高齢化なども進んできています。会員拡大、組織強化に向けて、地元市町村協会役員とともに市町村長へ情報開示の要望活動や、組織活性化懇談会での先進事例の学習などを行ってきました。

このほか、地域での交流事業や相談事業の実施など、障がい者の社会参加に向けた取組を進めていくことができました。これも、各市町村等協会や関係機関の皆さまのご協力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

障がい者スポーツの面では、10月に滋賀県で開催された全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」に、5競技、20名の選手を派遣し、金メダル11、銀メダル12、銅メダル2、合計25個を獲得するなど素晴らしい成績を収めました。11月には日本初開催の聴覚障がい者の国際大会東京2025デフリンピックに本県関係選手が5名出場し、金、銀、銅のメダルを獲得するなど大きな活躍を見せてくれました。

本年も、障がいのある方が安心して暮らし、主体的に地域社会に参画できる環境づくりをさらに推進してまいります。心理的・社会的バリアの解消や災害時の安全確保、孤独・孤立防止のための相談機能の充実などはますます重要になってきます。当協会としても、行政や関係団体との連携をより一層強め、共生社会の実現を目指して努力してまいります。

結びに、本年が皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。どうぞ本年もよろしくお願いたします。



長年のご努力が実を結ばれたことをたたえ、吉村美栄子知事より祝辞が述べられました。

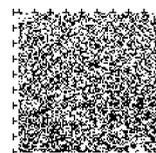


新聞 茂天童市長は、黒沼常務の多大な功績をたたえ、感謝の意を込めて固い握手を交わされました。

黒沼祐蔵 常務理事 藍綬褒章受章祝賀会開催

令和7年11月30日(日)、当協会の黒沼祐蔵常務理事兼総括施設長の藍綬褒章受章(令和7年春の褒章)を記念する祝賀会が、山形国際ホテルを会場に開催されました。

吉村美栄子山形県知事、山形市長代理高倉正則副市長、天童市新関茂市長よりご祝辞をいただいたほか、山形県身体障害者福祉協会理事の石井浩吉氏と法人職員有志による祝謡、山形県リハビリセンター音楽教室のみなさんによる演奏、職員・利用者有志の手話の歌の披露などが行われ、和やかな祝賀会となりました。



「山形県知事と身体障がい者代表との懇談会」

テーマ 障がい者差別のない共生社会を目指そう

令和7年10月20日（月）吉村美栄子山形県知事に山形県身体障害者福祉会館にお越しいただき、「山形県知事と身体障がい者代表との懇談会」を開催いたしました。

協会役員、評議員等70名ほどが出席し、県身障協会安部眞会長と吉村美栄子知事の挨拶の後、黒沼祐蔵常務理事の進行により、終始和やかな雰囲気の中懇談が行われました。はじめに、こちらから要望等を申し上げ、知事からはまとめてコメントをいただきました。



安部会長



吉村山形県知事

1 避難行動要支援者の「個別避難計画」作成等について



阿部副会長

阿部和信副会長 避難行動要支援者名簿の作成割合は16.8%と低く、進捗も鈍い。市町村によってもばらつきがみられる。最近では毎年のように県内でも豪雨災害等が発生しており、すべての市町村で公平・迅速に支援が受けられるように県から各自治体に計画の作成を促していただきたい、また、避難所の利用などについて当事者の参加や意見を聞く仕組みを作るよう促していただきたい。

知事コメント 個別避難計画作成に向けて、研修会を開催したり、個別に課題を聴取するなどし、実情に応じた助言を行っている。市町村や社会福祉協議会等に参加いただき「災害時要配慮者避難体制構築推進会議」を開催している。さらに、市町村長へも個別避難計画の作成を要請するなどして、実効性の高い計画作成を強く働きかけていきたい。

2 東紅苑の改修・改築について

須藤伸評議員 昭和53年に設置された東紅苑が老朽化しており、また、使い勝手が悪いところなどへの対応をお願いしたい。ベッドの部屋を増やすこと、トイレを改修すること、玄関のスロープの勾配を改善すること、機能訓練室に冷房を整備すること、将来的には改築も念頭にご検討いただきたい。

知事コメント 東紅苑は障害者やその家族にとって健康維持と安らぎの場として大切な施設であると考えている。できるところから順次改修整備を実施していく。施設の長寿命化と利用者の利便性の向上の面から中長期的整備計画を来年度策定したい。

全国脊髄損傷者連合会
山形県支部長
須藤評議員

3 市町村手話言語条例の制定促進について

丹野俊裕評議員 平成29年3月に山形県手話言語条例、令和7年6月に手話施策推進法が制定され、手話が重要な意思疎通手段であることが認められている。今後さらに手話や聴覚障がい者への配慮が進むよう、知事のリーダーシップのもと市町村条例の制定などだれもが暮らしやすい地域づくりをお願いしたい。

知事コメント 手話言語条例を施行、普及に努めてきた。今年8月の「山形県障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり県民会議」で改めて手話施策推進法の周知を行った。今後もあらゆる機会を捉え、市町村条例制定に向けて働きかけていきたい。

山形県聴覚障害者協会
会長 丹野評議員

4 山形県身体障害者福祉協会関連施設への支援について



沼澤副会長

沼澤一義副会長 協会では、福祉施設や県関係施設の運営を行っている。新型コロナ後の社会生活様式の変化や物価高騰など経営、運営環境が厳しくなっている。ご支援くださるようお願いしたい。

利用者 黒木一茂さん リハビリセンター就労継続支援B型事業所では、施設設立当初の古い施設で一般のパンや防災備蓄缶入りパン「安心・缶」の製造を行っているが、手狭になってきている。利用者が安心、安全に働ける施設を整備することは工賃向上を目指す上でも重要なことであると思っている。

知事コメント 県庁売店や県立中央病院ほっとぴあなど収支改善に向けた支援を行ってきた。今後、安定的、継続的な運営に向け、どのような協力ができるか丁寧にお話を聞いて検討していきたい。

最後に佐藤満子副会長から、私たちの要望に親身に耳を傾けていただいたお礼を申し上げ、懇談会を終了しました。

《懇談終了後、吉村知事は、リハビリセンター利用者が作業に取り組んでいる様子をご覧になりました》



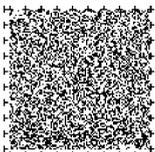
点字名刺印刷は、このように作っているんですね。

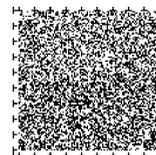


利用者さんに、手話でありがとうと伝える、吉村知事。



優しい表情で利用者さんの話を聞いてくださいました。





障がい者の社会参加促進と協会加入促進に向けて

酒田市・南陽市・庄内町 市町長との懇談を実施

県協会役員は、市町村協会役員とともに、障がいのある方々の社会参加をさらに広げること、そして協会への理解と会員加入の促進、行政との連携強化を目的に、酒田市・南陽市・庄内町を訪問し、市町長との懇談を行いました。

酒田市 矢口明子 市長 令和7年10月10日(金) 酒田市役所

酒田市では、酒田市障がい者福祉会が作成した協会案内チラシを、福祉課の協力を得て市役所窓口で配布いただいています。

懇談では、会員募集チラシをより見やすく工夫し、新規の身体障害者手帳交付者に限らず、既存の身障手帳所持者への送付物にも定期的に同封していただく方策について意見交換を行いました。

矢口市長からは、「チラシをいただければ、関係団体などさまざまな場面で私自身もPRします」など協会活動への理解と協力に対する温かいお言葉をいただきました。



南陽市 白岩孝夫 市長 令和7年12月12日(金) 南陽市役所

南陽市では、南陽市身体障がい者福祉協会が毎年市長との懇談の機会を設けていただいております。昨年12月には4回目となる「障がい者週間記念事業」を、多くの関係団体との連携のもと実施しました。

今回の懇談では、会員拡大に向け、身体障害者手帳所持者への情報提供のあり方について、先進市町の事例を説明し協力を求め、白岩市長からは、「他の市町村で問題なく実施されているのであれば、すぐに取り組みたい」との心強いお言葉をいただき、地域の障がい者の社会参加促進に対する積極的な姿勢が示されました。



庄内町 富樫 透 町長 令和7年10月14日(火) 庄内町役場

庄内町では、町の福祉制度案内資料の中に町身障協会の紹介文を掲載いただいております。昨年は約60名の新規身障手帳交付者がありましたが、制度案内が多岐にわたるため、情報が十分に届いているかが課題となっています。

富樫町長からは、「太陽の光が等しく当たるように、障がいのある方々への配慮を大切にしていきたい」とのご挨拶をいただきました。また、担当課長からは、先進市町の事例を参考に、説明資料へ福祉協会の活動内容を盛り込み、チラシ内容についても検討を進めていきたいとの前向きなお話をいただきました。



グループワークで活発な意見交換 市町村等身障協会組織活性化懇談会



安部会長からのあいさつと講話。共に協会活性化に向けて頑張っていきましょう!!



南陽市協会 島貴会長(右)、山村副会長(左)。「つながりあい持続可能な未来への展望」と題した事例発表。



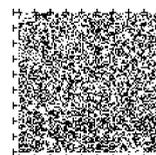
新庄市協会 渡邊事務局長。「協会のあゆみと市手話言語条例に係る事業」についての事例発表。

令和7年11月5日(水)
県身障会館

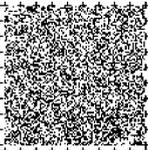
県身障協会では、会員減少や高齢化を背景に団体存続が課題となっていることから、障がいのある人の孤独・孤立防止と組織活性化を目的に、市町村等身障協会組織活性化懇談会を開催しました。



グループワークでは、意見が活発に出され、会長・副会長・常務理事からは、助言をいただきました。



令和7年度 輝きの芸術・文化作品展開催



令和7年9月26日(金)～30日(火)の5日間、「令和7年度 輝きの芸術・文化作品展」(令和7年度県民芸術祭参加事業)を開催しました。県内在住の身体に障がいのある皆様より、絵画・書道・写真・工芸・文芸などの作品をご出品いただき展示しました。今年度は、44名・1団体より、目の不自由な方の作品や、手の不自由な方が口で筆を咥えて描いた作品等、104タイトルの作品が出品されました。また、今年度は通常の展示と併せ、障がいのある方もない方も一緒に点字バッグ(リハビリセンターの生活介護事業で製作している点字用紙を再利用したバッグ)に職員手作りの消しゴムハンコを押して世界にひとつだけの点字バッグを作るワークショップも開催いたしました。期間中の27日(土)には、リハビリセンターの福祉祭も開催され、800名を超える方々にご来場いただき、盛会裏に終了しました。ご出品いただいた皆様、お越しいただいた皆様に心より感謝申し上げます。



力作がずらり。



たくさんの方からご覧いただくことができました。



ワークショップはお子様から大人の方まで大好評でした。

福祉祭も開催され、800名を超える方々にご来場いただき、盛会裏に終了しました。ご出品いただいた皆様、お越しいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

第40回障害者による書道・写真全国コンテストに山形県から1名入賞!!

県身障協会は、標記コンテストへの作品を募集し、お預かりしました作品につきまして全国障害者総合福祉センターへお送りいたしました。全国から1,099点(書道部門937点、写真部門162点)の応募があり、本県からは書道部門に11点、写真部門に1点を応募、その中から、書道部門に佐藤隆さん(酒田市)の作品が銀賞に入賞されました。入賞作品は、令和7年12月22日から全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)で展示されています。



書道部門 銀賞
「光風動春」佐藤 隆

おらが町の芸術家

羽黒町身体障がい者福祉協会 齋藤 久助さん

今年度の県協会主催の芸術文化作品展に出品された、齋藤久助さんの作品(写真参照)をご覧になられた方もいらっしゃるかと思います。この度、初出品いただいた齋藤さんを訪ね、鶴岡市羽黒にお邪魔しました。齋藤さんは17年前、60歳の時に両下肢不全症と診断され、身障手帳を取得されました。それ以前には、外に出ることが最高の幸せと、本業の農業のほか、土木関係のお仕事や酒造会社にお勤めされ、また、狩猟免許を取得し猟をされていたそうです。

鉛筆画は、63歳の頃、辰年に発行された鶴岡市報に掲載されていた龍の絵を模写したことがきっかけで始められました。

農作業小屋の2階を改造され、ギャラリーやアトリエ、趣味を楽しめる部屋などを作られました。急な階段の昇り降りが必要ですが、齋藤さんにとってそれは苦ではなく、1日に何度も訪れ、「自宅にいるよりも小屋にいる時間の方が長い」そうです。

ギャラリーには、たくさんの方の肖像画や阿修羅像、風神雷神の鉛筆画が飾られており、緻密で繊細な作品の数々に目が奪われました。

「良い人生であったよ」と語られた齋藤さんの笑顔は優しく、作品の製作時間について伺うと「気分次第。何もそんなに頑張らなくていい。身障協会に入会して、この度、作品展に出してもらったことになって、たくさんの方から観てもらって喜んでいただろう」と語ってくださいました。

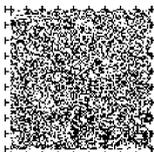
齋藤さん、ご同行いただいた羽黒身障協会事務局の松浦さん、貴重なお時間をありがとうございました。これからも、末永く、お元気で、齋藤さんの遊びごころ溢れる「秘密基地」で創作活動を続けられることを期待しております。



「秘密基地」にて。笑顔がとても素敵な齋藤さんでした。

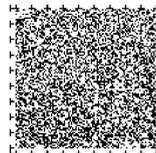


芸文祭に出品いただいた齋藤さんの作品(写真右2作品)



東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会に参加

令和7年11月13日(木)、宮城県仙台市の秋保リゾートホテルクレセントにて、第31回東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会が開催され、山形県からは、安部眞会長のほか、身体障害者相談員3名、事務局3名が参加しました。参加された皆さん、大変お疲れさまでした。



東北福祉大学の石塚裕子教授による基調講演「小さな声が創るインクルーシブな防災の未来」



ワークショップ「みんなの経験を共有して、行動する一歩を考える」での安部眞会長によるグループ討議内容の発表



「お困りごと」に対して自分たちが出来ることはないか?～活発な意見交換～

障害者週間記念事業・北村山地区 身体障害者相談員連絡協議会研修会

「輪投げ交流会」開催!

令和7年12月1日(月)に、東紅苑にて、障害者週間に合わせて、身体障害者相談員が地域の方々と輪投げを通して親睦交流を図る「輪投げ交流会」が行われました。



身体障害者相談員は、地域で生活する障がい当事者として、障がい理解啓発も大切な役割です。



参加者皆で採点をします。優勝チームにはリハビリセンターの米菓子が贈呈されるとあって、大盛り上がりでした!

「楽しく・身近に・声かけて」広がる女性の輪!! 仲間づくり声かけ運動促進事業

各地区「女性のつどい」大盛況!

村山地区

令和7年9月17日(水)～18日(木)
於：県身体障がい者保養所「東紅苑」
39名(うち宿泊12名)参加

感想

村山なんちゃって舞子の皆様によるステージ、すごいパワーでびっくり!楽しかった!



最上地区

令和7年10月8日(水)
於：新庄ふるさと歴史センター 34名参加

感想

新庄ふるさと歴史センターを見学。新庄民話の会の渡部豊子さんの民話語り、昔語りもユーモアがあり、楽しく、面白く聞かせてもらいました。「生」で山車を見て子供の頃山車を引いたことがよみがえりました。アークユマリエTAMAHIMEでの豪華コースランチ、なかなかできない体験をさせていただきました。美味しかったです!



置賜地区

令和7年11月2日(日)
於：高島町屋代地区公民館 73名参加

感想

米沢ヤクルト販売(株)の広瀬直美氏による健康教室。腸が変われば人生変わる!手話うたや涙そうそうの健康体操は、高島町協会が普段取り組んでいるものを参加者皆で楽しめて良かった!



庄内地区

令和7年9月30日(火)
於：鶴岡市八栄島地区地域活動センター
53名参加

感想

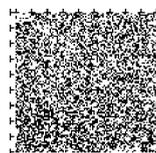
鶴岡市地域包括ケア推進課の介護予防支援員の佐藤勉氏による脳トレリズム体操。これから自分なりにやれるようになりたい。サックス・尺八・ギター・ドラムによる生演奏、心に沁みました。気持ちよく声を出して心が潤いました。



JRジパング倶楽部特別会員制度のご案内

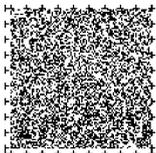
JR東日本のご協力のもと、入会によりJRの特急券等の割引を受けられます。

〈入会資格〉身体障害者手帳をお持ちの方で男性は60歳、女性は55歳から
 〈特典〉身体障害者手帳による乗車券割引に加え、長距離利用特急券等の割引
 〈年会費〉1,400円 〈介護者の割引〉第1種身体障害者の介護者は同様の割引あり
 詳細は、JRまたは下記窓口またはホームページ：<https://y-sinsyokyo.com>
 〈窓口〉当協会 担当：大野 TEL：023-686-3690/FAX：023-686-3723



第24回全国障害者スポーツ大会

『わたSHIGA輝く障スポ2025』 報告



令和7年10月25日(土)～27日(月)の3日間、滋賀県彦根市を主会場に全国障害者スポーツ大会が開催されました。この大会は、障がい者が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がい者に対する理解を深め社会参加の推進に寄与することを目的としたスポーツの祭典です。大会は、3日間の会期で開催され、全国から約5,500人が参加し多くの声援のなか熱戦が繰り広げられました。



山形選手団 堂々の入場行進

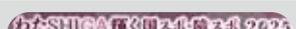
山形県からは、選手20名役員20名の総勢40名が出場し、金メダル11個・銀メダル12個・銅メダル2個の合計25個のメダルを獲得し輝かしい成績を収めることができました。山形県選手団の皆様大変お疲れ様でした。

また、県民及び関係団体の皆様のご声援ありがとうございました。心より感謝申し上げます。なお、令和8年度の全国障害者スポーツ大会は、青森県での開催となります。

全国障害者スポーツ大会に参加して

『積み重ねた努力の成果』

陸上競技出場 大類 涼太 (尾花沢市)



全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」陸上競技の走幅跳・走高跳に出場しました。全国大会で緊張しましたが、両競技で1位を獲得することができました。走幅跳では雨の中での競技でしたが、調子もよく5m84cmの自己ベスト更新記録で金メダルを獲得することができとても嬉しかったです。



今大会を迎えるまで、色々な人に支えられてきた実感がありませんでした。家族・学校の友達、先生方の応援があつての結果と思ひ、とても感謝しています。冬期練習で自分を追込み次回の全国大会「青の煌めきあおもり大会」に出場できるように精一杯精進していきます。

東京2025デフリンピック

聴覚障がい者の国際スポーツ大会「東京2025デフリンピック」が世界約80か国・地域からアスリート約三千人が参加し、令和7年11月15日から26日までの12日間、東京体育館・駒沢オリンピック公園総合運動場を主会場に21競技が行われました。山形県からは小鷹実春選手（バスケットボール）鶴岡市出身・齋藤心温選手（サッカー）酒田市出身・齋藤京香選手（水泳）酒田市出身・齋藤丞選手（陸上）酒田市在住・大崎英人選手（ハンドボール）尾花沢市在住の5名が出場しました。



大会の結果報告でリハビリセンターに来所した選手の皆さん

小鷹実春選手はバスケットボール女子のエースとして活躍し、決勝でアメリカから [65対64] で勝利し金メダルを獲得しました。サッカー男子では、齋藤心温選手がフル出場した日本は惜しくもトルコに [1-2] で敗れ銀メダル。競泳女子400mメドレーリレーでは齋藤京香選手が第3泳者で出場した日本は銅メダルの結果となりました。山形県勢の活躍が目立った大会となり、最高の舞台でのパフォーマンスは県民の皆さんに深い感動を与えてくれました。

～パソコンボランティア (ICTサポート) 事業のご紹介～

県身障協会では、身体に障がいのある方々のための以下のパソコンボランティア (ICTサポート) 事業を実施しています。詳細については、県身障協会事務局までお問い合わせいただくか、右のQRコードからホームページをご参照ください。



パソコンやスマートフォンの操作でお困りではありませんか？

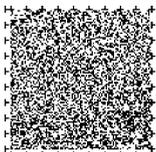
パソコンやスマートフォンの操作を支援するため、ご指定の場所やご自宅等へボランティアを派遣する事業を実施しています。パソコンやスマートフォンの操作等でお困りの時は、是非ご利用ください。

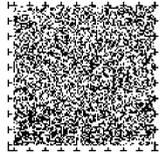
視覚障がい者ICT講習会を開催しています

画面が見えない (見えにくい) と操作ができないと思われがちなパソコンやスマートフォンですが、使い方や設定により操作ができるようになります。視覚に障がいのある方 (見えにくいと感じている方も可) を対象に、毎年10月～11月に開催しておりますので、当講習会でパソコンやスマートフォンの操作を体験してみたいはかがでしょうか？

パソコンボランティア養成講座を開催しています

身体に障がいをお持ちのかたへ、パソコンやスマートフォン等のICT機器に関してサポートする、ボランティアの養成をする講座を年1回9月頃開催しています。当講座を受講することで上記の派遣事業やICT講習会で活動できます。ご興味のある方ぜひお問い合わせください。





第71回 日本身体障害者福祉大会せんだい大会参加と 身障旅行を企画します!!

県協会では、大会参加を含めた1泊2日の旅行を企画します。無理のない行程と配慮された宿泊施設で、ご本人・ご家族・仲間と安心して参加いただけます。全国大会が初めての方も、隣県開催の良い機会です。
東北での大会を、みんなで盛り上げましょう!

■日程：令和8年
6月17日(水)～18日(木)予定
■行程・料金等：市町村身障協会よりご案内の予定です
■お問い合わせ：県身障協会事務局まで



利用者さんと職員で披露した手話の歌「世界に一つだけの花」

事業所だより

リハビリセンター

住所：〒990-2231 山形市大字大森385
電話：023-686-3722 FAX：023-686-3723

令和7年9月27日(土) 山形県リハビリセンターにて毎年恒例の福祉祭が開催されました。今年はバルーンアーティスト「ポヨ」さんによるバルーンアートのプレゼントや、天童を中心に活躍されている「たけのこ会」さんの歌や踊り、そして恒例のリハビリセンターバンドの演奏などが会場を盛り上げ、合計900人近いお客様からご来所いただきました。また、昨年好評だった「むぎわらぼうし」のえび焼きや完熟トマトカレー、みちのく屋台こんにやく道場の焼き芋などのキッチンカーも大人気でした。

視覚障がい者情報センター

住所：〒990-0031 山形市十日町1-6-6
電話：023-631-5930 FAX：023-627-1118

視覚障がい者情報センターに利用登録しませんか?

視覚障がい者情報センターでは、視覚障がいやその他の障がいにより活字による読書が困難である方、目で文字を追うことが難しい方、上肢に障害があり、ページをめくることができない方なども、録音図書(データダウンロード)などをご利用いただけます。詳しくは、情報センターまでお問合せください。



11月に、音声ガイドによる映画体験会を開催し、映画館にて、倍賞千恵子さん主演の「TOKYOタクシー」をスマートフォンアプリを使い鑑賞しました。視覚障がいになってからは、初めて映画館で映画を体験した方もいらっしゃいました。また12月には、当センター主催で、初めての機器展を開催し、多数の方がご来場くださいました。ぜひ、みなさま、視覚障がい者情報センターをご利用ください。

ふれあいの家

住所：〒990-0811 山形市長町2-10-20
電話：023-681-0002
FAX：023-681-0003

入居者募集

福祉ホームふれあいの家は、障がいをお持ちの方々が、円滑な就業生活や日常生活を送るために様々なサポートを行っています。

ご利用につきましては、障がい者自立支援訓練事業の給付を行っている市町村の方が対象となりますので、当施設やお近くの相談支援事業所へお問い合わせください。

山形県身体障がい者保養所「東紅苑」 本年も「東紅苑」をどうぞよろしくお願ひいたします!

「東紅苑」は、身体に障がいがある方とご家族等の健康増進と憩いの場として、県が東根温泉に設置している保養所です。

源泉かけ流しのお風呂が4つあり、介護用リフト付の家族風呂もあります。

主なご利用料金は表のとおりですが、概ね10名様以上でのご利用では、無料送迎バスのご相談も承っております。

職員一同、皆様のご来苑を心よりお待ちしておりますので、本年もご愛顧くださいますようよろしくお願い申し上げます。



区分	宿泊料(1泊2食付き)	暖房料
身体障がい者	5,900円	300円(11月～3月)
介添者	6,000円～6,690円	

山形県身体障がい者保養所 安心、湯ったりの宿 東紅苑

詳しくは「東紅苑」にお問い合わせください。

〒999-3702 東根市温泉町2-16-1
電話：0237-43-2061 FAX：0237-43-2422

投稿要領

- 郵便またはFAX、Eメールにてご投稿ください。
- 氏名(ふりがなを必ずふる)、住所、電話番号を明記してください。
- 「文芸ひびき」と明記してください。
- 投稿は、一人1作品とします(ふりがなを必ずふる)。
※音声コードを付ける都合上、ふりがながふられていない場合は、当協会事務局で読み方を判断いたしますのでご了承ください。
- 投稿締切はございません。
- 掲載時期は、投稿状況により、当協会事務局にて調整させていただきます。
- 宛先 〒990-2231 山形市大字大森385
山形県身体障害者福祉協会「文芸ひびき」係
FAX 023-686-3723
Eメール y-sinsyokyo@orange.plala.or.jp

事務局より
「文芸ひびき」では、会員の皆様から随時寄せられた俳句や短歌、川柳、詩等、不定期に掲載いたします。「寝たきり等の重い障がいをお持ちの方を含め、ベッドの上から誰もが手軽に社会参加できる企画」として、ぜひお楽しみください。

俳句
今年こそ午くゆく様馬絵かざる
庄内町 本間香智子

